

KURUMINO OPEN TENNIS 2025

くるみのオープンテニス 2025 日程・留意事項

2025.10.4

(1) 大会日程

カテゴリ	2025.10.11(土)	2025.10.12(日)
一般の部	予選 SA 9:30	本戦 SA 9:30
小学生男子	予選 SA 9:30	
中学生男子	予選 NB 13:00	
小学生女子	予選 SA 9:30	無し
中学生女子	本戦 NB 13:00	

後日発表のオーダーオブプレイ表(OP)にて、受付時間・練習時間・試合順・コート番号等のご確認をお願いいたします。OPは、天候及び試合進行上の運営状況により変更される場合があります。最新の情報は下記のホームページによりご確認をお願いいたします。

(ユーステニス育成会サイト)

<https://youth-tennis.org/kurumino>

(KURUMINO OPEN サイト)

<https://kurumino.jp>

(大会に関するお問い合わせ)

くるみのオープンテニス 2025 大会運営事務局

一般社団法人 ユーステニス育成会

TEL 011-558-1760 FAX 011-351-5360

電子メール tour@youth-tennis.org

お問い合わせフォーム https://kurumino.jp/?page_id=102

(2) 会場・練習（プラクティス）

札幌平岸庭球場（デコターフ）

<https://www.sapporo-sport.jp/hiragishi-t/>

プラクティスコート 2025.10.11(土) 8:30～9:20 全コート（A,B,1 番～18 番）

*午後からの中学生男子向けに 12:30～13:00 及び空きコートの利用が可能です。

(3) 雨天時・猛暑時について

(ア) 雨天時においては、使用コート（デコターフ）の性質上、スリップ等の危険性がある場合がございます。その場合は、試合の中断・待機・時間変更・中止となる場合があります。

(イ) 猛暑時は環境省による暑さ指数(WBGT)を指標とします。WBGT 数値が「28(厳重警戒レベル)」を

超す場合にはジュニア選手の健康を考慮し、中断・待機・中止となる場合がございます。

(ウ) 全てのアナウンスは、会場掲示板・WEB サイトを利用いたします。

(エ) 悪天候の場合は、スケジュールの都合上、試合方法が変更（短縮等）となる場合があります。ご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。

(4) 試合方法

1. 試合当日は、試合開始定刻時間（SA・NB）以前に本部にエントリー受付（出席確認）をお願いします。尚、試合開始アナウンス後 15 経過した場合は W.O.（対戦相手の不戦勝）となります。
2. 試合開始事前に本部まで、試合球とスコア票の受け取りをお願いします。
3. 全試合 ノーレット・ノーアドバンテージ・セルフジャッジとします。（一般の部はサービスレット有）
4. 試合開始前の練習はサービス 4 本のみ
5. 予選及び本戦の試合中のボールチェンジはありません。
6. 試合終了後、試合の勝者は、試合結果記載のスコア票を本部に届けてください。使用球は敗者の方がお持ち帰り下さい。
7. 試合方式：

カテゴリ	予選	本戦
一般の部 小学生の部 中学生の部 (全カテゴリ共通)	<u>6 ゲーム先取</u> ノーアドバンテージ 方式	3 ショートセットマッチ ノーアドバンテージ方式 第 1・第 2 セットはショートセットマッチ (<u>4-4 タイブレイク、7 ポイント</u>) セットスコア 1-1 後の第 3 セットは、 <u>10 ポイントのマッチタイブレイク方式</u>

(5) 本戦への進出基準

カテゴリ	本戦進出数	進出基準
一般の部	4	各ブロック内順位が上位 2 名の選手
小学生男子	8	各ブロック内順位が上位 2 名の選手
中学生男子	12	各ブロック内順位が上位 1 名の選手 及び追加選出 5 名（ブロック内 2 位の選手の中で 取得ゲーム率が上位の選手）
小学生女子	4	各ブロック内順位が上位 2 名の選手
中学生女子	4	各ブロック内順位が上位 2 名の選手

(6) 順位決定の優先順

- ① 勝率
- ② 取得ゲーム率
- ③ 直接対戦結果

(補足)

1. W.O(ノーショウ等)などの失格者の取得ゲーム数は全て 0 と記録する (本大会においては 60 または 40,40)
2. 怪我などによるリタイヤの場合は、勝者はリタイヤ後、残りのゲームを全て勝ったとしてゲームを記録し、敗者はリタイヤするまでに取得したゲーム数を記録する。
(例 A 対 B の 3 セットマッチで、B が 41,22 の時にリタイヤした場合、勝者は A でスコアは 41,24,10(*タイブレーク)と記録する。

(7) 組み合わせ方法

一般の部：ディレクター立ち合いのドロウ抽選

ジュニアの部：

予選：北海道ランキング (2025/9/19 付 RP) を優先としたシード選手が、各ブロックに配置されます。シード選手以外はディレクター立ち合いのドロウ抽選となります。

本戦：各ブロック順位をもとに、トーナメント表の事前に定められた場所に配置されます

(8) 表彰

各クラスの優勝・準優勝には賞状並びにトロフィーが授与されます

(9) 参加条件

1. 本大会の本戦結果は UTR 公式記録として提供されます。
2. 試合球は「Wilson TOUR (ITF 公認)」
3. ドロウ発表以降の出場キャンセルにつきましては、参加料が発生します。ご了承のほど宜しくお願い致します。
4. スポーツ庁の指導により、本大会会場において、選手に対しての撮影は禁止となります。尚、大会運営事務局によって大会中に撮影された写真及び動画等の著作権は運営事務局に帰属し、当ホームページ等にて利用する場合がございます。
5. 大会期間中の事故怪我等につきましては、応急処置等の対応はいたしますが、医療機関にかかる費用、身体の障害等につきましては、一切の責任をおいかねますのでご了承ください。ご自身の健康に留意し、万全の体調で大会にお臨みください。
6. 天候悪化などによる試合可否及び試合順等の変更については現地大会本部よりご連絡致します。
7. エントリー数・天候や運営の都合上、試合方法を変更する場合があります。

(10) ルール及びマナー

主なルール（本事項に記載以外のことについては、日本テニス協会発行の「テニスルールブック」の最新版を準用し、すべての選手を公平に扱います。）

1. 本大会ではセルフジャッジを採用しています。

セルフジャッジ5原則（主なルール）

- ① 判定が難しい場合は、「グッド(Good)」*相手に有利に。
 - ② 「アウト」または「フォールト」は、ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき。
 - ③ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに。
 - ④ サーバはサーブを打つ前に、相手に聞こえる声で、スコアをアナウンス。
 - ⑤ コートの外の人にジャッジを求めない（コート外の方はセルフジャッジに意見をしない）
2. サービス練習の前に、トスでサービス権／コート権をあらかじめ決めてください。
 3. ノードバンテージ方式は、40-40（デュース）になった場合は、次の1ポイントを取った方がゲームを得ます（レシーバーが、右サイドでうけるか、左サイドで受けるか速やかに選択する）
 4. 第1ゲームの終了後の休憩はとれません。第3ゲームまで連続して行います。
 5. ポイント間は20秒以内、ゲームエンド交代は90秒以内にプレーしてください。
 6. 試合中、選手はいかなる指示・助言を受けてはなりません。選手または競技関係者以外が試合中にコートには入れません。
 7. 筋ケイレン（痙攣）による、メディカルタイムアウト（MTO）はとれません。
 8. クレーコート以外は、BMI（ボールマークインスペクション）は出来ません。（相手のコートへ出向きボールマークを確認する行為）
 9. タイブレークについて：
2ポイント以上の差をつけて、先に7ポイントをとった方がそのセットの勝者となります。2ポイントの差がつくまでタイブレークを行います。タイブレークの第1ポイントにサービスをした選手が、次のセットの第1ゲームのレシーバーとなります。（JTA P11）

マナー

国内で実施されるプロツアー以外のジュニア含む公式戦では大部分においてはセルフジャッジにてプレーすることが多いのが実情です。選手同士で判定を下し合うセルフジャッジにおいては、ルールブックにおいて、ある程度の示唆はあるものの、細かい指示まではなされていないため、実際の試合の場においては、やはり、“慣習”がございます。その慣習については両者のスポーツマンシップを支えるものが多いこととなっています。

選手同士で判定を下し合うセルフジャッジでは、基本的には、「わからなかったらイン（グッド）にする」という判断基準があります。この原則に沿ってプレーしましょう。

1. ポイントのカウントコールは相手に伝わるようにする（確認の返事をする）
2. アウト・インのコールはしっかりと相手に伝わるように声とジェスチャーで（強風の日はやり大きな声で）
3. 試合前後の挨拶（試合後は脱帽し握手またはラケットタッチ等を）
4. 対戦相手をリスペクト（尊敬）すると同時に、対戦相手からリスペクト（尊敬）される選手であること
5. 相手のナイスプレーには賞賛を

6. クリーン（正確な）なセルフジャッジを心がけ、相手のジャッジは尊重すること
7. ボールがコートの中に転がってきたときは必ず拾うこと（転倒などのケガ防止と不意な得失点を防ぐためお互い注意しあうこと）
8. プレー最中の隣接するコートにボールを取りに行かない
9. 相手にボールを渡すときは丁寧に渡しましょう

コード違反（マナーではなく違反となります）

コード・オブ・コンタクト（通称「コード」）とは、JTA 公式大会におけるプレーヤーに対しスポーツマンシップを高揚させ、プレーヤーとしての責任ある言動に努め、コートマナーおよび諸規則を遵守することを目的とされた規定です。中にはマナーと思っていることも、公式戦では「コード違反」となり、ポイントペナルティや失格といったケースにも発展します。日頃から是非理解しておいていただきたいルールとなります。

（公式戦においてはコード違反）

1. 相手が不快に感じるような無気力な試合態度はせず、最後まで諦めずにプレーする姿勢を
選手は試合に勝つためにベストを尽くさなければならない。チェアアンパイア・レフリーにベストを尽くしていないと判断されたプレーヤーは失格になることがあります（※コード違反 "Best Effort"）
2. 道具・施設コートを大切に
ラケットやボールを叩きつけたり蹴ったりしない。コート上で怒りをこめて打ったり、地面に激しく叩きつけたり、危険な方向へ投げつけたり、施設・設備・道具を蹴ったりしてはいけません（※コード違反 "Abuse of Balls,Rackets,Equipmwnt"）
3. 相手にボールを渡すときは丁寧に渡しましょう
試合コート上及び会場内で相手選手、アンパイア、観客に対してスポーツマンシップの礼儀をわきまえ品格、トーナメントの品位を損なうような言動・行動は慎まなければならない（※コード違反 "Unsportsmanlike Conduct"）
4. 相手のコートへ出向きボールマークを確認する行為は出来ません
BMI といいます。ボールマークインスペクション（BMI）はクレークコートのみ可能です。それ以外のコートでネットを超えた場合はコード違反となります。（※コード違反 "Unsportsmanlike Conduct"）
5. プレー中の帽子の落下
相手プレーヤーへの妨害となり 1 度目はレット(*）、2 度目以降は妨害により失点。
(*)レットコールの際に打ったボールがアウトした場合はそのプレーヤーの失点。エースまたはウィニングショットであればそのプレーヤーの得点。レットは取り消しされる。

（その他のコード）

- ・時間厳守 ("Time Violation")
- ・服装と用具の規定 ("Dress code and Equipment")
- ・コートを離れる ("Leaving the Court")
- ・言葉による侮辱 ("Verbal Abuse") 等